

平成29年2月3日

各位 株式会社リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村義一
(コード番号: 4591 東証マザーズ)

問合せ先 取締役執行役員管理本部 宮崎正是
TEL. 03-3440-3303

抗 FGF2 アプタマーの軟骨無形成症の
新規治療薬開発に繋がる最新研究成果の国際学会での発表に関するお知らせ

線維芽細胞増殖因子 (Fibroblast Growth Factor) のシグナル伝達を研究する多様な研究者が一堂に会する国際学会、「2nd Fibroblast Growth Factors in Development and Repair Conference」が3月7日～11日 (メキシコ・カンクーン) に開催されます。

本学会において、当社取締役執行役員研究開発本部長 兼 事業開発部長の藤原将寿が抗 FGF2 アプタマー (自社創薬品目 RBM007) に関し、軟骨無形成症の新規治療薬としての開発に繋がる最新の研究成果について「DIVERGENT ROLES OF FGF2 IN DISEASE PROGRESSION: MULTIACTIONS OF ANTI-FGF2 APTAMER」(疾病の進行における FGF2 の多様な役割: 抗 FGF2 アプタマーの多様な機能) と題し講演いたします。

当社は抗 FGF2 アプタマーを、加齢黄斑変性症や軟骨無形成症に対する革新的な新規治療薬として開発することに注力しており、最近、軟骨無形成症の動物モデルにおいて画期的な治療効果を確認することに成功しました (非臨床 POC の獲得)。本学会に参加する線維芽細胞増殖因子を研究する製薬会社やアカデミアの研究者、並びに臨床医などとの間で、抗 FGF2 アプタマーの開発の推進及びアライアンスの進展に繋がる活動を展開してまいります。

株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。当社の創薬基盤技術である「RiboART システム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・眼疾患・線維症を始めとして、広い領域の Unmet Medical Needs (未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ) に対する新薬の提供を目指してまいります。

以上